

様式5 (研究評価用)

平成20年度三重大学COEプロジェクト研究評価結果通知書

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 世界に誇れる世界トップレベルの研究拠点 <input type="checkbox"/> 学部として育てたい国内トップレベルの研究
研究 題 目	未来エネルギー・コミュニティの成立工学 —自然由来資源活用の自立分散発電システム社会に向けて—
研究代表者	工学研究科 石田 宗秋 教授
総括評価	<div style="text-align: center;"> <span style="margin-right: 100px;">A</span> <span style="margin-right: 100px;"><span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">B</span></span> <span>C</span> </div>
コメ ン ト	<p>○工学部長のトップマネジメントのもとに研究推進され、学部の支援体制は評価できる。21世紀COE提案を諦めてからは個々の研究に頼った形となっている。多数のリサーチセンターの形成につながっていることは評価でき、今後の発展が期待出来る。</p> <p>○本研究の最終目的は「未来エネルギー・コミュニティ成立工学の構築」とされ、そのための具体目標が8点にわたって示されているが、具体的成果が明確になっている点として「大型発電機用電界緩和部材の開発」の成功が指摘されている。それ以外には、「開発を行っている」などの記述が多い。</p> <p>研究報告書を読むかぎり、若手人材の育成や学部のバックアップ体制、構成員の有機的連携等に関する記述が見られないので、平均的評価をせざるをえない。</p> <p>○当初目的のプロジェクトが途中中止され、再出発した。その後の研究チームの中には素晴らしく活躍されているプロジェクトが含まれており、今後の発展に期待したい。</p>